

# 小学校 第3学年 道徳科 学習指導案

埼玉県川口市立木曾呂小学校  
教諭 渡辺 真

**主題名** 気持ちをつたえ合う


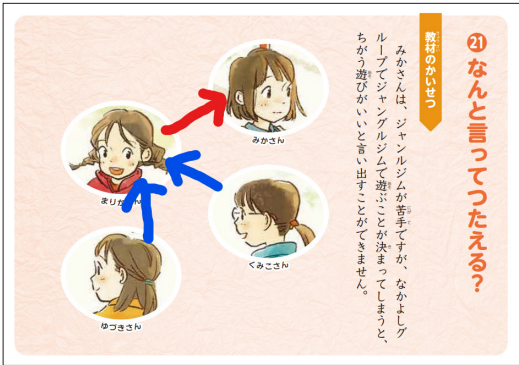
**教材名** 「なんと言ってつたえる？」（1時間）


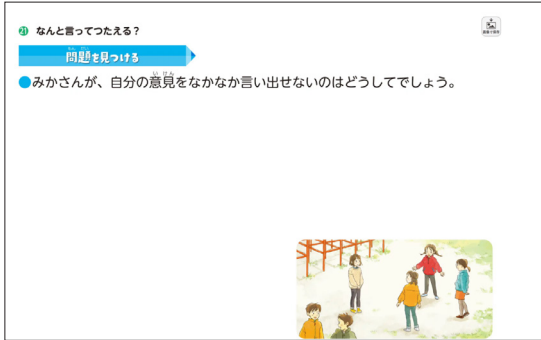
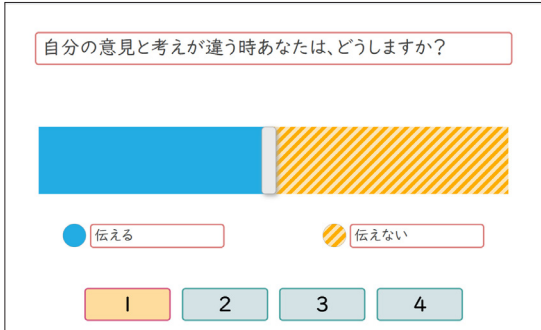
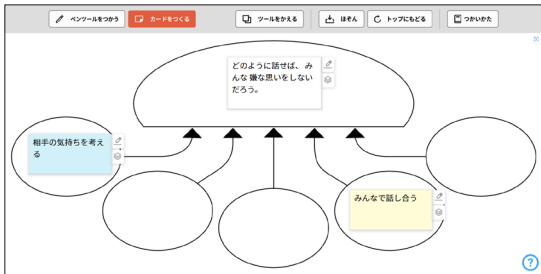
**内容項目** B 相互理解 寛容

**本時のねらい** みかさんのこれからの行動について考えることをとおして、意見を伝えるときに大切なことに気づき、自分の意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見も大切にしようとする心情を育てる。

**指導時期** 12月中旬ごろ

## 本時の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>「指導者用デジタル教材」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「指導者用デジタル教材」を活用した教材提示後に登場人物の関係について確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「指導者用デジタル教材」の二次元コードから「教材のいかせつ」を開き、登場人物の関係について、「矢印」を引きながら確認する。</li> </ul> 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<p><b>T</b>：「4人の関係性を考えながらスライドを見ましょう。」</p>	<p>●「[スライド] ボタンをクリックし、教材をスライドで提示する。」</p> 
展開	<p>●「[なんとやってつたえる] を読んで、どのように話せばよいのかについて考える。」</p> <p><b>T</b>：みかさんが、自分の意見をなかなか言い出せないのはどうしてでしょう。</p> <p>◎：言うと嫌われてしまうかもしれないから。</p> <p>◎：嫌だと言うとみんなに悪いから。</p> <p>◎：みんなが、いいって言っているから。</p> <p><b>T</b>：自分の考えとちがう意見が出たとき、あなたならどうしますか。</p> <p>◎：どうしてそう思うのか理由を聞く。</p> <p>◎：自分の意見を正直に言ってわかってもらう。</p> <p>◎：相手の考え方と、自分の考え方のいいところを見つける。</p> <p>◎：よく聞いて、お互いにもう一度考えてみればいいと思う。</p> <p><b>T</b>：どのように話せば、みんないやな思いをさせずに、気持ちを伝えることができるでしょう。</p> <p>◎：提案してくれたことにお礼を言う。</p> <p>◎：みんなで話し合う。</p> <p>◎：相手に謝ってから自分の意見を言う。</p>	<p>●「[学習者用デジタル教材] の「問題を見つける」の部分をクリックしてワークシートを表示させ、ペンツールで記入させる。」</p>  <p>●「[学習者用デジタル教材] の「心情メーター」を活用して、自分の考えとちがう意見が出たとき、あなたならどうしますか。という発問のあと心の中を表現させる。」</p>  <p>●「[学習者用デジタル教材] の「思考ツール」の中から「フラグチャート」を選択し、班でどのように話せばいいかとまとめさせていく。」</p> 
まとめ	<p>●本時の学習を振り返る。</p> <p><b>T</b>：今日の学習で学んだことを振り返りましょう。</p>	<p>●「[学習者用デジタル教材] のワークシートを活用する。ふだん使用している学習支援ソフトウェアで振り返りを記入させてもよい。」</p>



## 学習者用デジタル教材を活用したことで得られた効果

### 【児童が書き込みたいときに書き込むことができる】

ペンツールがあるため、児童は考えを書きたいときに記入することができる。教師側が意図的に「考えを書きましょう。」と指示を出して記入させることもできるが、児童が書きたいときに、書きたい場所に記入することもできる。

個別最適な学びとして、発問に対してノートを使いたい児童やタブレットに書き込みたい児童などそれぞれの学びに合わせて選択できるよさもある。

### 【ワークシートの活用】

「学習者用デジタル教材」には、発問部分に対応したワークシートが用意されている。タブレットを使って入力するだけでなく、紙で提出させたい場合には、印刷して授業の中で活用することもできる。教師側の授業のスタイルや児童側の学習のスタイルに合わせて、必要なコンテンツを取捨選択して活用することができる。

### 【心情メーターの活用】

「心情メーター」を活用して、児童は「みかさん」の心の中を表すことができる。「心情メーター」が4つまで作成できるため、登場人物に合わせて4パターン作ることもできる。

また、「心情メーター」の表す言葉を自分で打ち込むことができることもメリットとなる。今までは教師側が「言う」「言わない」などの二択を提示し、児童には「心情メーター」で表現させていたが、児童自身がそのメーターの言葉を決めて打ち込むことができる。児童が自分で表したいことを、より表現できるようになるのである。

みかさんの気持ち

● 言いたい      ● 言いたくない

1 2 3 4

ゆづきさんの気持ち

● 言いたい      ● 言いたくない

1 2 3 4